

生活意識について

1. 生活意識について

(1) 現在の生活の満足度 (問36)

【全員に】

問36 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。

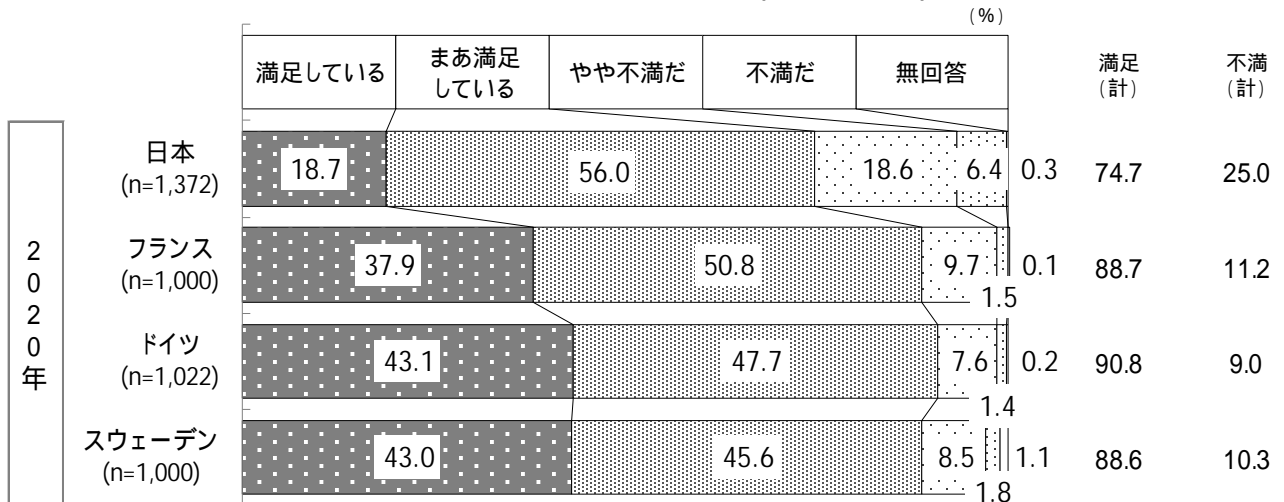
この中から、当てはまるものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|---------|
| 1 満足している | 3 やや不満だ |
| 2 まあ満足している | 4 不満だ |

全体として、現在の生活にどの程度満足しているか聞いたところ、日本では、74.7%が『満足(計)』(「満足している」(18.7%)、「まあ満足している」(56.0%)の計)と回答している。

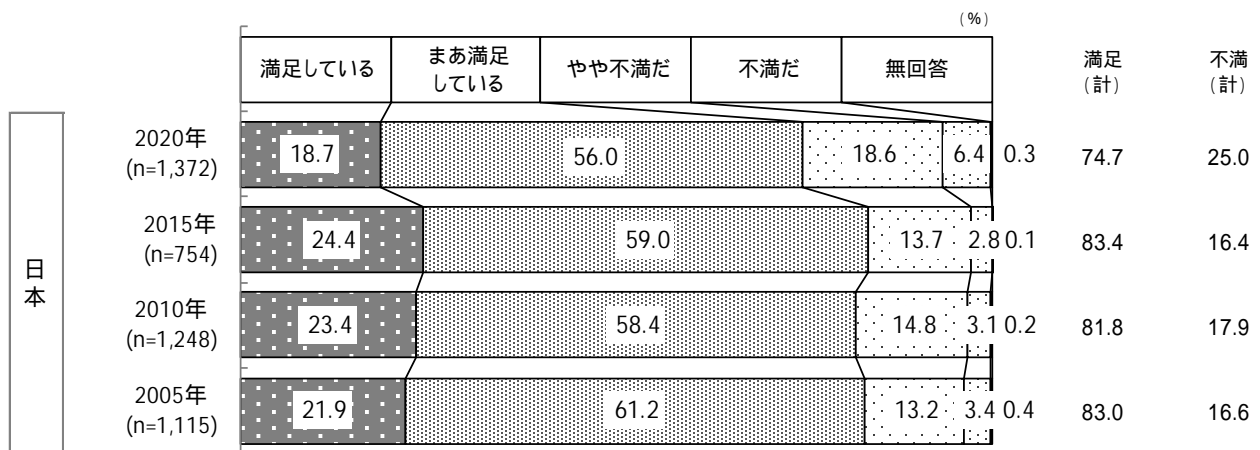
各国の結果を比較すると、「満足している」の割合はドイツ(43.1%)、スウェーデン(43.0%)が4割台前半で並び、次いでフランスが37.9%と、2割弱の日本より高い。『満足(計)』の割合も、ドイツ(90.8%)、フランス(88.7%)、スウェーデン(88.6%)では9割前後と高くなっている。(図 - 1)

図 - 1 現在の生活の満足度 (4か国比較)



日本について過去の結果と比較すると、『満足(計)』の回答割合は2005年(83.0%)、2010年(81.8%)、2015年(83.4%)は8割台前半を維持していたが、2020年調査では74.7%に減少した。(図 - 2)

図 - 2 現在の生活の満足度(日本)



注:「無回答」について、2015年以前は「わからない」という項目になる。

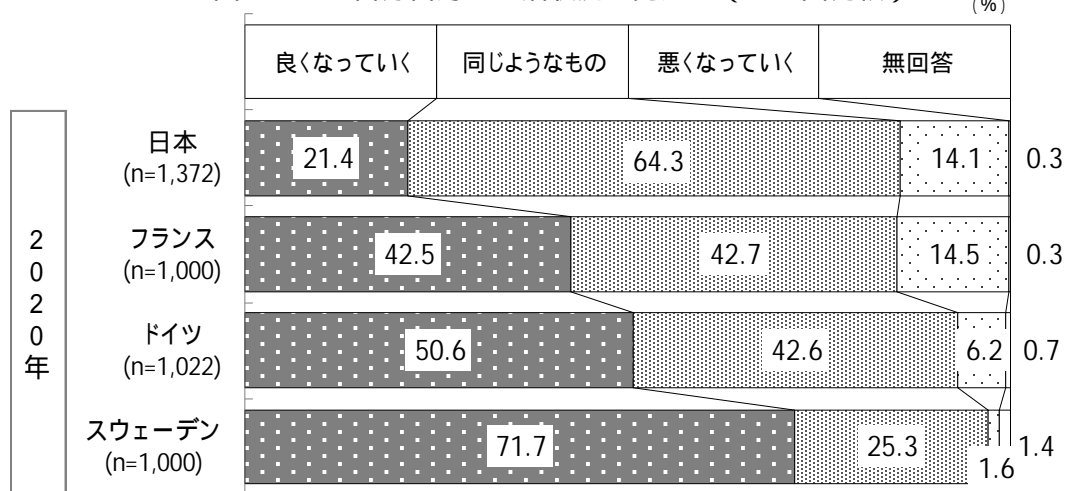
(2) 自分自身の生活状況の見通し (問 3 7)

問 37 あなたの生活は、これから先、どうなっていくと思いますか。
 この中から、当てはまるものを 1 つだけ選んでください。(○ は 1 つだけ)

1 良くなっていく
 2 同じようなもの
 3 悪くなっていく

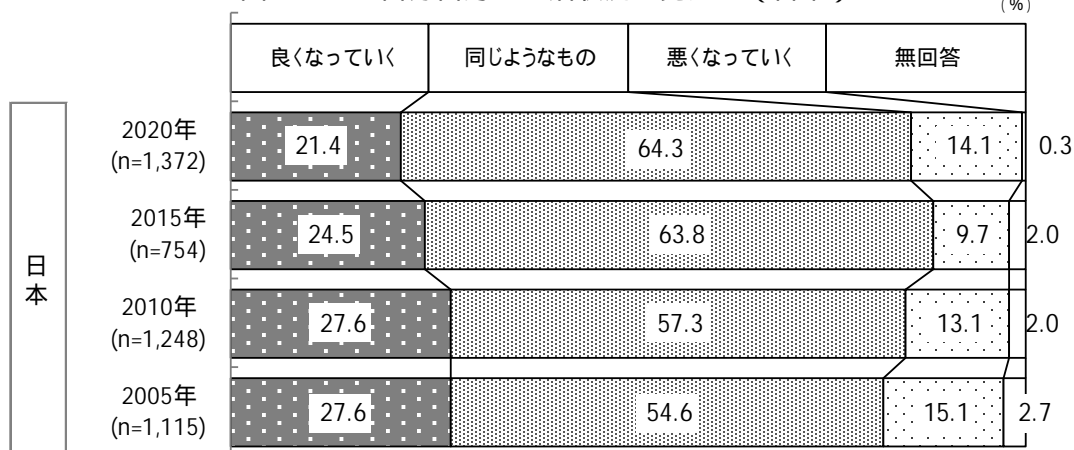
自分自身の生活は、これから先、どうなっていくと思うか聞いたところ、日本では、「同じようなもの」の割合が 64.3% で最も多く、「良くなっていく」が 21.4%、「悪くなっていく」が 14.1% となっている。各国の結果を比較すると、「良くなっていく」はスウェーデンで 71.7% と最も高く、次いでドイツ (50.6%)、フランス (42.5%) と続き、日本 (21.4%) との差が大きい。(図 - 3)

図 - 3 自分自身の生活状況の見通し (4 か国比較)



日本について過去の結果と比較すると、「良くなっていく」は 2005 年度・2010 年度に各 27.6% だったが、以降減少傾向にあり、2015 年度調査 (24.5%) と比較して 3.1 ポイント減少している。(図 - 4)

図 - 4 自分自身の生活状況の見通し (日本)



注: 「無回答」について、2015年以前は「わからない」という項目になる。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響

(1) 結婚(同棲)に対する意識の変化(問38) *新規の質問

【問3aで「3 結婚したことはあるが、今はそうではない」、「4 結婚も同棲もしていない」と回答した方に】

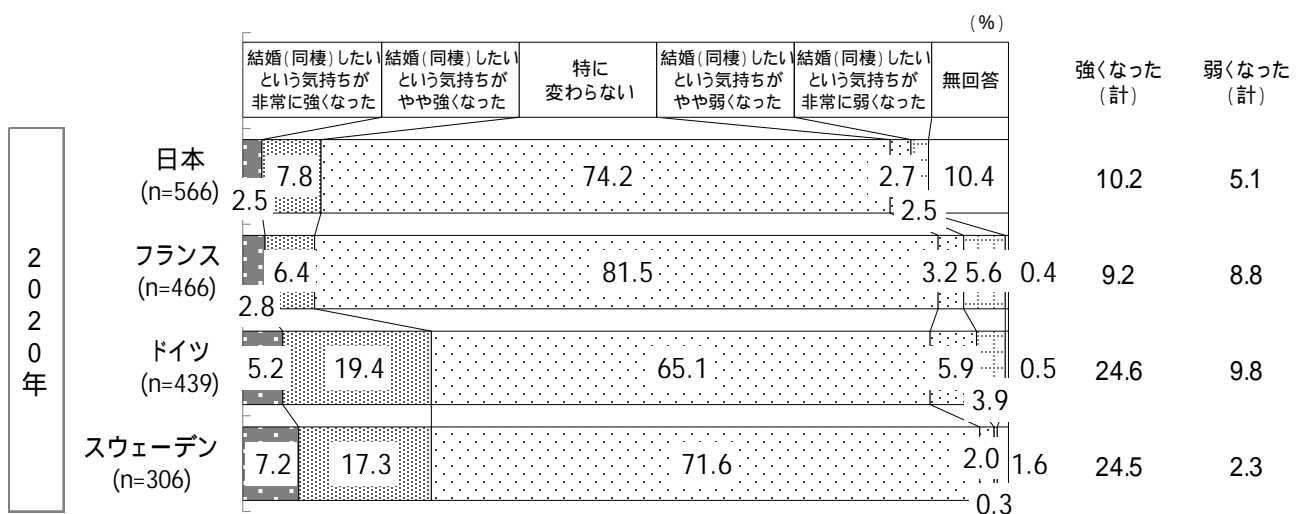
問38 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、結婚(同棲)に対する意識に変化はありましたか。この中から、当てはまるものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 結婚(同棲)したいという気持ちが非常に強くなった | 4 結婚(同棲)したいという気持ちがやや弱くなった |
| 2 結婚(同棲)したいという気持ちがやや強くなった | 5 結婚(同棲)したいという気持ちが非常に弱くなった |
| 3 特に変わらない | |

現在結婚も同棲もしていない人に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、結婚(同棲)に対する意識に変化はあったか聞いたところ、日本では、「特に変わらない」の割合が74.2%で最も多いが、結婚(同棲)したいという気持ちが『強くなった(計)』と回答した人は10.2%であり、『弱くなった(計)』と回答した人の割合(5.1%)よりも高い。

各国の結果を比較すると、結婚(同棲)したいという気持ちが『強くなった(計)』はドイツ(24.6%)とスウェーデン(24.5%)で約4分の1と高く、日本(10.2%)とフランス(9.2%)が1割前後となっている。4か国とも「特に変わらない」が多数を占め、『弱くなった(計)』よりも『強くなった(計)』の方が高いが、フランスでは『弱くなった(計)』と『強くなった(計)』が拮抗している。(図 - 5)

図 - 5 結婚(同棲)に対する意識の変化(4か国比較)



(2) 子供を持つことに対する意識の変化(問39) * 新規の質問

【全員に】

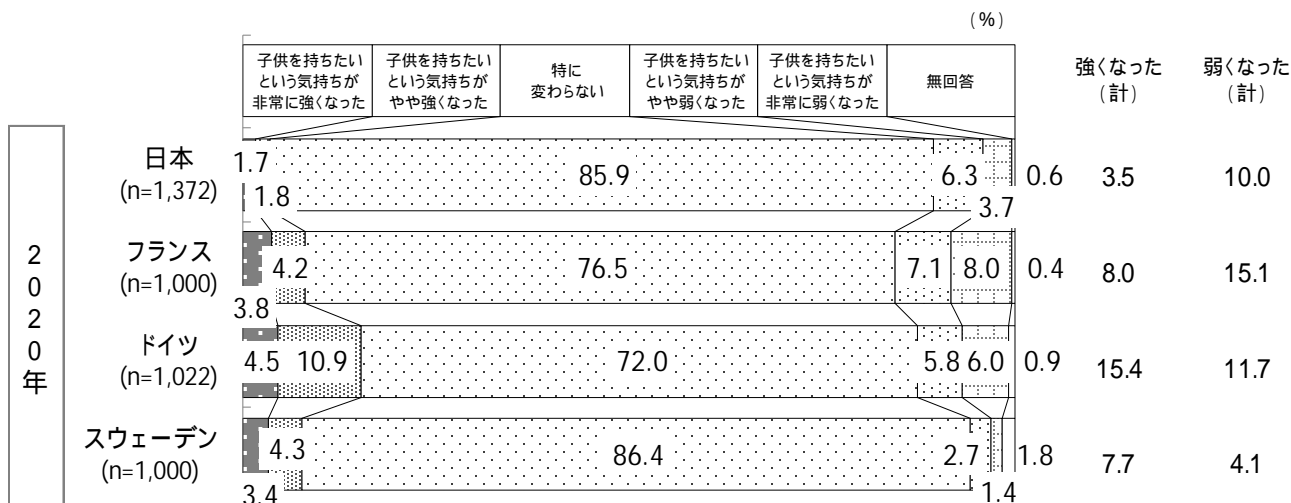
問39 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、子供を持つことに対する意識に変化はありましたか。この中から、当てはまるものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 子供を持ちたいという気持ちが非常に強くなった | 4 子供を持ちたいという気持ちがやや弱くなった |
| 2 子供を持ちたいという気持ちがやや強くなった | 5 子供を持ちたいという気持ちが非常に弱くなった |
| 3 特に変わらない | |

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、子供を持つことに対する意識に変化はあったか聞いたところ、日本では、「特に変わらない」の割合が85.9%で大多数を占め、『強くなった(計)』と回答した人は3.5%にとどまる。子供を持ちたいという気持ちが『弱くなった(計)』と回答した人の割合は10.0%で、『強くなった(計)』と回答した人の割合よりも高い。

各国の結果を比較すると、『強くなった(計)』はドイツ(15.4%)で最も高く、次いでフランス(8.0%)、スウェーデン(7.7%)、日本(3.5%)の順である。4か国とも「特に変わらない」が大多数を占め、ドイツとスウェーデンでは、『弱くなった(計)』よりも『強くなった(計)』の方がやや高いが、日本とフランスでは、『弱くなった(計)』の方が高い。(図 - 6)

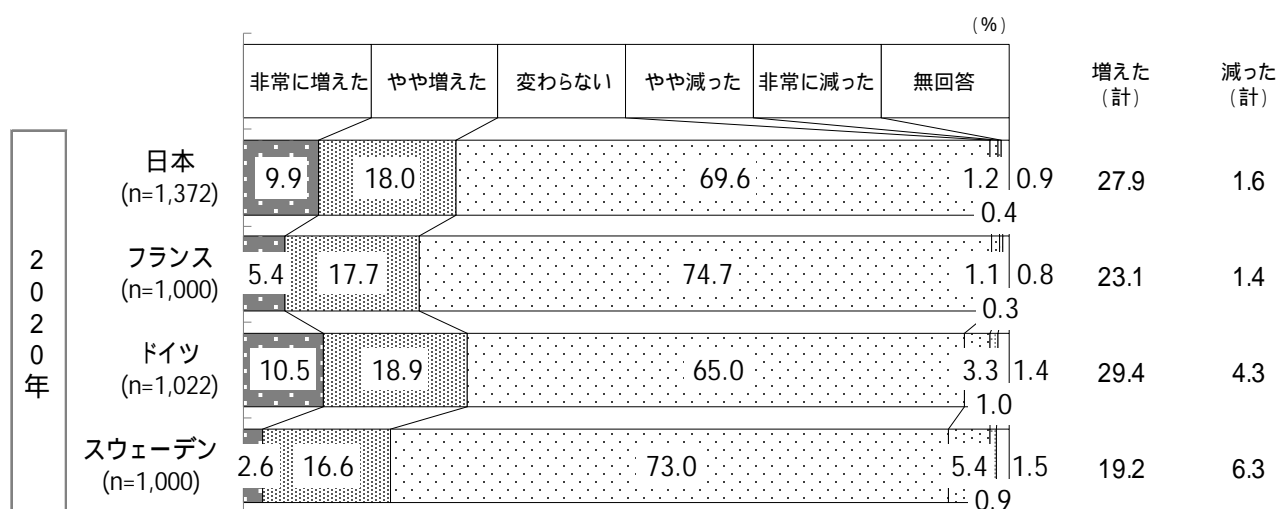
図 - 6 子供を持つことに対する意識の変化(4か国比較)



家事や育児の負担については、日本では「非常に増えた」(9.9%)と「やや増えた」(18.0%)を合計した27.9%が家事や育児の負担が『増えた(計)』としているが、大多数の69.6%は「変わらない」と回答している。

各国の結果を比較すると、『増えた(計)』という回答はドイツ(29.4%)で日本と同程度であり、次いでフランス(23.1%)、スウェーデン(19.2%)の順である。(図 - 8)

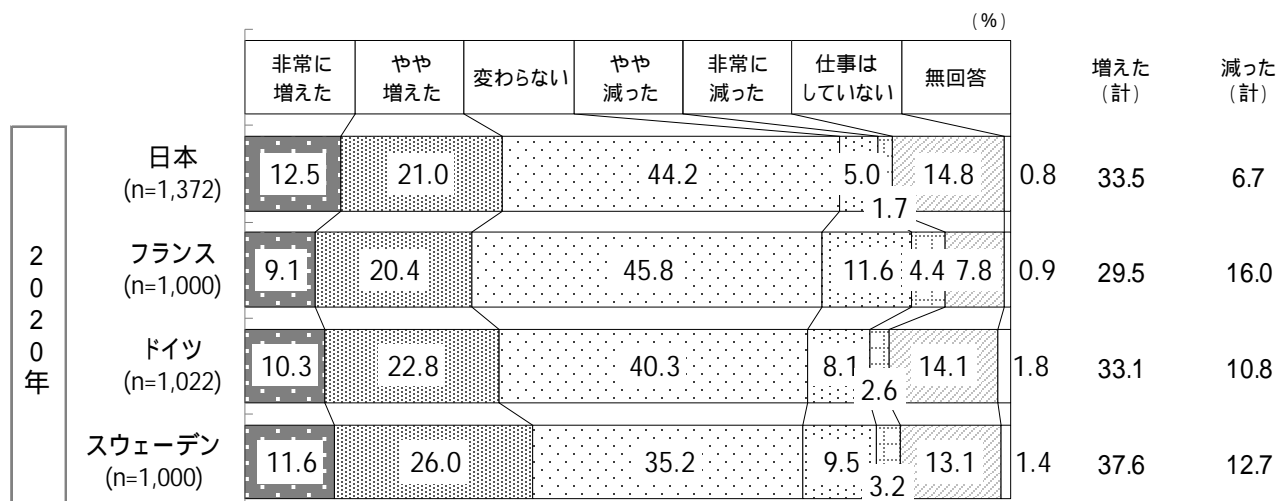
図 - 8 新型コロナウイルス感染症拡大前との変化 (b) 家事や育児の負担 (4か国比較)



仕事の負担については、日本では33.5%が『増えた(計)』(「非常に増えた」(12.5%)、「やや増えた」(21.0%)の計)としている。「変わらない」が44.2%で最も多い。

各国の結果を比較すると、『増えた(計)』という回答は、スウェーデンで37.6%と最も多く、次いで日本(33.5%)とドイツ(33.1%)、フランス(29.5%)の順となっている。(図 - 9)

図 - 9 新型コロナウイルス感染症拡大前との変化 (c) 仕事の負担 (4か国比較)



家族や交際相手とのコミュニケーションについて、日本では23.3%が『増えた(計)』(「非常に増えた」(8.0%)、「やや増えた」(15.2%)の計)とし、『減った(計)』の10.1%(「非常に減った」(3.4%)、「やや減った」(6.7%)の計)よりも多い。66.1%は「変わらない」と回答している。

各国の結果を比較すると、『増えた(計)』という回答は、ドイツとスウェーデンでそれぞれ36.0%と最も多く、次いでフランス(25.4%)、日本(23.3%)の順となっている。スウェーデンは『減った(計)』も20.0%で4か国中最も多い。(図 - 10)

図 - 10 新型コロナウイルス感染症拡大前との変化 (d) 家族や交際相手とのコミュニケーション (4か国比較)

